

BUSINESS REPORT

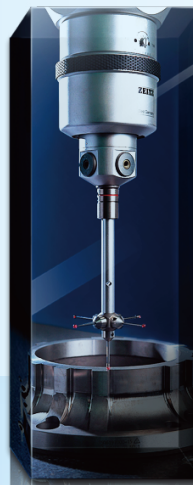
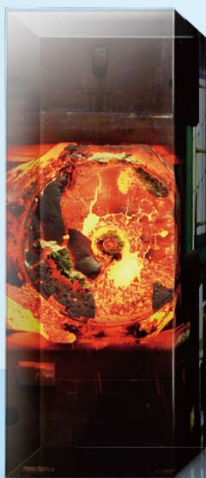
for the six-month period ended September 30, 2011

第87期 中間報告書

2011年4月1日～2011年9月30日

2/4

 **日本高周波鋼業グループ**
NIPPON KOSHUHA STEEL GROUP



株主の皆様へ



代表取締役社長

大西 功一

当社グループの業績

売上高	(対前年同期比)7.1%増 21,116 百万円
営業利益	(対前年同期比)17.1%減 233 百万円
経常利益	(対前年同期比)9.2%減 236 百万円
中間純利益	(対前年同期比)30.7%減 148 百万円
一株当たり 中間純利益	1円01 銭

注記事項

※本報告書は平成23年10月31日発表の決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性のある訂正情報や業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては金融庁EDINET、当社ホームページ「IR情報」掲載資料にてご確認ください。

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当社第87期上半期(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)が終了いたしましたので、その事業の概況および中間決算の内容についてご報告申し上げます。

事業の経過及びその成果

当中間期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により停滞していた企業活動が持ち直しつつありますが、円高の進行や海外景気の減速懸念、欧州の財政危機など、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループは新商品の市場投入など、受注の確保に努めました。また、操業面では節電や勤務時間帯及び休日配置の一部見直し等により電力制約に対処するとともに、継続的にコスト改善に取り組んでまいりました。その結果、当中間期の連結業績は売上高21,116百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益233百万円(前年同期比17.1%減)、経常利益236百万円(前年同期比9.2%減)、中間純利益148百万円(前年同期比30.7%減)となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、円高の進行、海外景気の減速懸念、欧州の財政危機、東日本大震災からの復興の遅れなど経済環境は依然として不透明な状況が続くものと思われます。

このような環境のもと、当社グループとしましては営業面、生産面でタイムリーかつ柔軟に対応し、最大収益の確保に取り組めます。

原材料価格の上昇に対しましてはタイムリーに販売価格への転嫁とコストダウンを推進してまいります。加えて、為替影響を踏まえ採算性に留意した海外向け数量の拡大、特殊鋼業界ナンバーワンQCD(注)の構築への取り組み、製販一体となった商品開発の推進等々を実施し、事業基盤を強化してまいります。

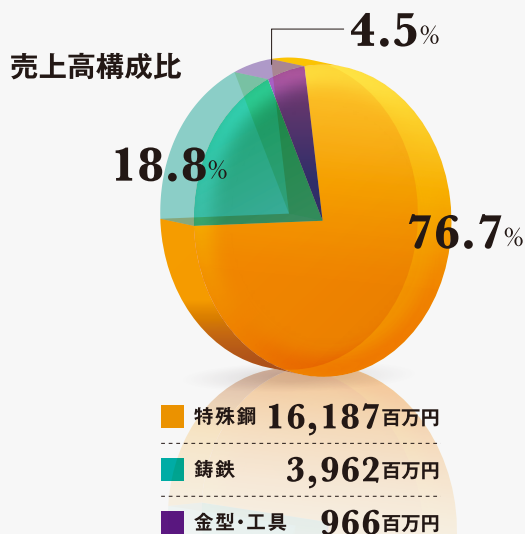
なお、当期の中間配当につきましては、より強固な経営基盤を構築するため、その実施を見送らせていただくことといたしました。

株主の皆様には今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

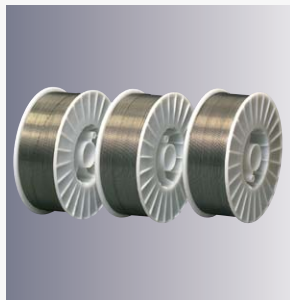
(注) QCD: Q (Quality、品質)、C (Cost、価格)、D (Delivery、納期)

セグメント別概況(第87期 中間期)



特殊鋼部門 16,187百万円(76.7%)

売上数量は東日本大震災の影響はあったものの、受注拡大努力等により前年同期を上回りました。また、原材料価格の上昇に対して販売価格の是正に取り組んだ結果、売上高は16,187百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益は22百万円(前年同期比14.4%増)となりました。



鋳鉄部門 3,962百万円(18.8%)

期初に震災の影響による売上減はあったものの、主力のトラック関連や建機向けが堅調に推移しました。また、原材料価格の上昇に対して販売価格の是正に取り組んだ結果、売上高は3,962百万円(前年同期比7.7%増)となりました。一方、下期以降の数量増に対応するための労務費等の費用増があり、営業利益は206百万円(前年同期比20.1%減)となりました。



金型・工具部門 966百万円(4.5%)

自動車生産の回復に伴い、第2四半期以降自動車関連向け金型部品の受注が回復し、売上高は966百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益は5百万円(前年同期比19.2%増)となりました。



連結財務諸表

中間連結貸借対照表

	当中間期 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)
資産の部	41,379	41,773
流動資産	21,831	21,828
現金及び預金	152	188
預け金	418	481
受取手形及び 売掛金	8,529	8,669
製品	2,801	2,578
仕掛品	5,202	5,640
原材料及び貯蔵品	4,227	3,881
その他	512	403
貸倒引当金	△13	△13
固定資産	19,547	19,944
有形固定資産	18,184	18,396
建物及び構築物	3,321	3,382
機械装置及び 運搬具	5,938	6,120
土地	8,507	8,507
その他	416	386
無形固定資産	73	86
投資その他の資産	1,289	1,461
投資有価証券	850	940
その他	473	554
貸倒引当金	△34	△33
資産合計	41,379	41,773

(単位:百万円)

	当中間期 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)
負債の部	23,164	23,436
流動負債	16,855	16,966
支払手形及び 買掛金	7,496	7,993
短期借入金	5,807	5,877
長期借入金 (1年内返済)	104	86
その他	3,447	3,009
固定負債	6,308	6,469
退職給付引当金	3,062	3,180
土地再評価に係る 繰延税金負債	2,370	2,370
その他	875	917
純資産の部	18,215	18,336
株主資本	17,398	17,469
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,728	1,728
利益剰余金	34	105
自己株式	△34	△33
その他の包括利益 累計額	817	866
その他有価証券 評価差額金	83	132
土地再評価差額金	734	734
負債・純資産合計	41,379	41,773

単位未満切捨て

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
売上高	21,116	19,713
売上原価	19,097	17,741
販売費及び 一般管理費	1,785	1,690
営業利益	233	281
営業外収益	97	109
営業外費用	94	131
経常利益	236	260
特別利益	1	—
特別損失	63	39
税金等調整前 中間純利益	174	220
法人税、住民税 及び事業税	19	36
法人税等調整額	6	△30
中間純利益	148	214

単位未満切捨て

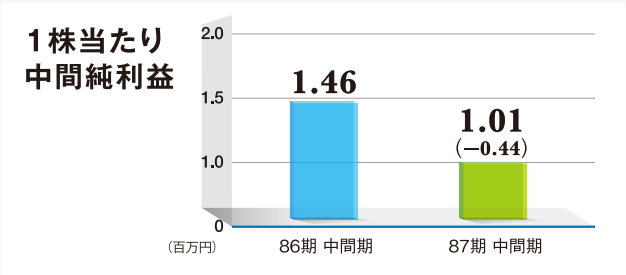
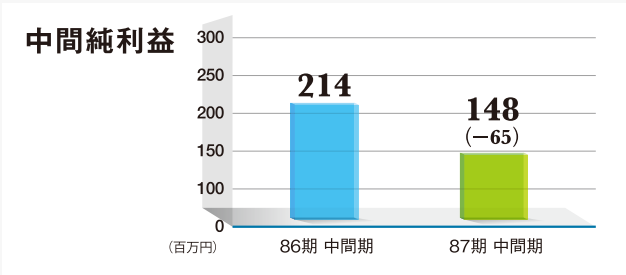
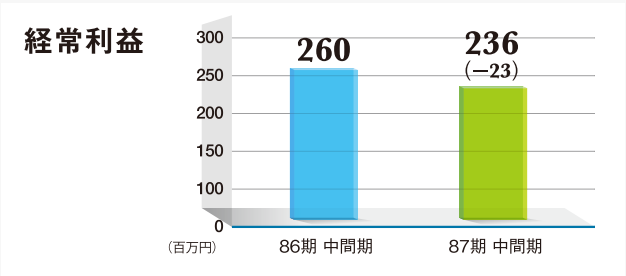
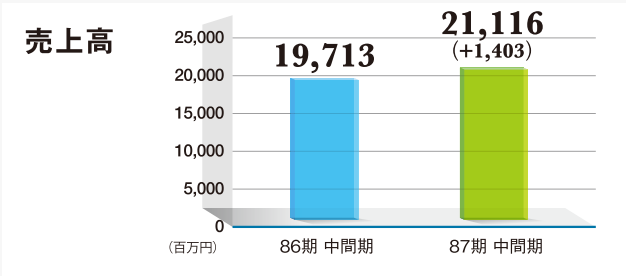
中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当中間期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	499	682
投資活動による キャッシュ・フロー	△271	△301
財務活動による キャッシュ・フロー	△325	△260
現金及び現金同等物 の増減額(減少△)	△97	120
現金及び現金同等物 の期首残高	669	786
現金及び現金同等物 の中間期末残高	571	906

単位未満切捨て

業績の推移



第87期業績予想

平成23年7月29日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり当期純利益
42,000百万円	500百万円	500百万円	400百万円	2円73銭

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化により異なる業績結果となることもありますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

配当状況

当期末の配当につきましては、今後の業績動向や経営環境を考慮して検討してまいります、現時点では未定とさせていただきます。

配当予想につきましては、業績の見通しが得られ、開示が可能となった時点で速やかにお知らせします。

	1株当たり配当金(円)			配当金総額 (年間) (百万円)	配当性向 (連結) (%)	純資産配当率 (年間) (%)
	中間期末	期末	年間			
第87期	0.00	未定	未定	—	—	—
第86期	0.00	1.50	1.50	219	26.5	1.2

GROUP TOPICS

環境リスク低減に向けた排水管理の一層の強化

日本高周波鋼業の富山製造所は、豊かな自然に恵まれた富山湾に面する製造所として、工場排水に係わる環境リスク低減に注力しています。現在、管理強化を目的に、3つの排水系統へ以下の装置の設置、システムの導入を計画、実行中です。(完成予定 2012年9月)

- ①早期検出 … 連続監視装置の増設
- ②迅速通報 … 警報伝達システム導入
- ③流出防止 … 排水口緊急遮断＋一時貯留システム導入

2011年9月末で3つの排水系統のうち1つへの排水系統への導入を完了し、現在は他系統への導入計画を推進しています。今後も継続的な改善活動を進め、さらなる環境リスク低減に努めてまいります。

③流出防止(昇降式遮断板)



- ①早期検出(連続監視装置)＋
- ②迅速通報(警報伝達システム)

高校生工場見学の受入

当社グループは、地域の方々への情報公開と共生という観点から、積極的に工場見学の受入を行っております。本年9月には、当社富山製造所では富山県内の高校生84名、高周波鍛造八戸工場では工業高校生26名・教員10名を対象に工場見学を実施いたしました。

当社グループの製品は一般消費者にはなじみが薄いのですが、この度特殊鋼や鋳物の製造現場を見学していただいたことによって、「自分たちが知らない」とこ

ろで世の中にとって重要な製品を作っている会社があることを知った。」など、当社グループへの理解を深めていただくことができました。



高級プラスチック金型用鋼 GHX・JHX販売開始

日本高周波鋼業の特殊鋼部門は、中期計画の重点項目である「海外市場への拡販」を進めております。その一環として、中国市場をターゲットとした高級プラスチック金型用鋼「GHX」「JHX」を開発し、2011年8月から発売を開始しました。これにより、幅広いニーズのあるプラスチック金型用鋼のうち、高い付加価値が期待できる分野への参入を図ってまいります。「GHX」は光学機器、医療器具、IT電子機器など高い鏡面性を必要とする製品の金型用として、一方、「JHX」は高い硬さが特徴で、電化製品や自動車部品成形の金型用に販売しております。まずは中国市場での拡販を進め、その後アジア全域への展開を進めてまいります。

高周波鍛造が大手建設機械メーカー向大型ダンプ部品を機械加工完成品で納入開始

近年、鉄鉱石や石炭などは需要が旺盛で、オーストラリアをはじめ各国で盛んに鉱山開発が進められています。それに伴い鉱山開発用大型ダンプの需

要も高まっており、大手建設機械メーカーでは組立が追いつかず、部品の製造能力も不足している状況です。

そんなお客様の悩みを解消するために、当社は最大単重2トンの大型鋳鉄製品について、鋳物の製造から機械加工までの工程を一貫で取組み、2011年6月より機械加工完成品として量産納入を開始いたしました。

お客様からは機械加工の手間がなくなったなど好評をいただいております。

今後はさらなる機械加工の取り組みにより、付加価値を向上させ、機械加工事業の拡大を推進してまいります。



高周波鍛造に非接触3次元測定機を導入

グループ会社の高周波鍛造(八戸市)に、鋳造品の寸法測定を行うための非接触3次元測定機を導入いたしました。同社の販売する製品の多くは、3次元曲面形状を持っており、従来の測定方法では、曲面の測定点を増やすか、切断した断面形状と図面を比べる方法のために、時間と手間がかかりました。非接触3次元測

定機の導入により、従来以上に検査を簡単・迅速・正確に測定・評価を行うことが可能となり、製造リードタイムの短縮にもつながります。営業面でも納期の差別化ができるため、さらなる拡販に活かしてまいります。



高周波精密で救命救護講習会を実施

2011年4月、高周波精密は社員を対象に、市川東消防署の指導による救命救護講習会を実施いたしました。

今回は社員19名が参加して応急手当と、AEDを使用した肺蘇生法(人工呼吸)のトレーニングを3時間にわたって受講しました。

従業員から、「救命について普段学ぶ機会がなかなかないが、講習では丁寧に指導していただき、大変勉強になりました。救命活動をする場面になったら、活かしていきたい。」など、大変有意義であったとの意見が寄せられました。

今後も定期的に、救命救護講習会を実施する予定です。



会社データ(平成23年9月30日現在)

会社概要

会 社 名	日本高周波鋼業株式会社
設 立	昭和25年5月18日
資 本 金	156億69百万円
所 在 地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TEL 03-5687-6023 (代) FAX 03-5687-6047
上 場	東京証券取引所1部上場
売 上 高	連結 398億22百万円(平成22年度実績) 単体 285億89百万円(平成22年度実績)
従 業 員 数	連結 1,103名 単体 500名
事 業 内 容	高級特殊鋼および超合金の製造販売 各種高級特殊鋼および超合金の線・棒・鍛造品・ 加工品、冷間圧造品
主要取引銀行	みずほコーポレート、三井住友、三菱東京UFJ、 みずほ信託、三菱UFJ信託、富山第一

役員

代表取締役社長	大西 功一
代表取締役専務	田中 慶壽
専務取締役	永尾 卓己
常務取締役	古瀬 司
常務取締役	林田 敬一
常務取締役	久留島 靖章
取締役	山名 壽
取締役	平賀 範明
監査役	緒方 民生
監査役	竹内 誠一
監査役	田淵 啓仁
監査役	西村 悟

(注) 1. 平賀範明氏は社外取締役であります。 2. 田淵啓仁、西村悟の両氏は社外監査役であります。

株主データ(平成23年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 240,000,000株

発行済株式の総数 146,613,356株(自己株式 262,818株を除く)

株 主 数 14,909名

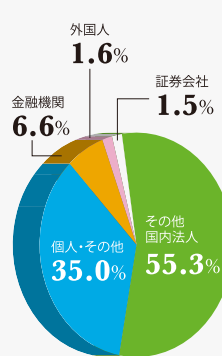
■大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社神戸製鋼所	75,753	51.67
浅井産業株式会社	2,712	1.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,721	1.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,437	0.98
豊田通商株式会社	1,100	0.75
日本証券金融株式会社	736	0.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	664	0.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	619	0.42
多田 勉	615	0.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口3)	570	0.39

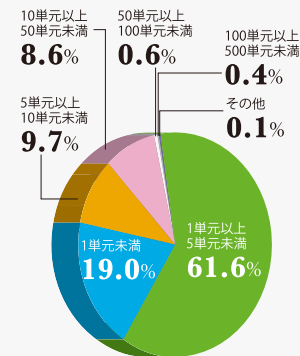
(注) 持株比率は自己株式(262千株)を控除して計算しております。

株式分布状況

●所有者別株式数



●所有単元数別株主数



日本高周波鋼業株式会社

本社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル8階
TEL 03-5687-6023(代) FAX 03-5687-6047

大阪支店

〒530-0022 大阪府大阪市北区浪花町12-24 赤坂天六ビル7階
TEL 06-4802-1480(代) FAX 06-4802-1481

名古屋支店

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-20-25 広小路YMDビル8階
TEL 052-232-3410 FAX 052-232-3413

北関東営業所

〒373-0014 群馬県太田市植木野町328
TEL 0276-20-5071 FAX 0276-20-5072

Bangkok Liaison Office

39/9 Rama 3Rd., Chongnonsee, Yannawa, Bangkok
10120, Thailand
TEL 66-2294-9258 FAX 66-2294-9260

上海事務所

上海市徐匯区肇嘉浜路777号 青松城大酒店7階707号
TEL 86-21-6443-5402/5404 FAX 86-21-6443-5407

富山製造所

〒934-8502 富山県射水市八幡町3-10-15
TEL 0766-84-3181(代) FAX 0766-84-3468

グループ会社

高周波鑄造株式会社

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108
TEL 0178-43-0127 FAX 0178-22-2468

高周波精密株式会社

〒272-0003 千葉県市川市東浜1-1
TEL 047-328-3201 FAX 047-328-6797

株式会社カムス

〒373-0014 群馬県太田市植木野町328
TEL 0276-40-5005 FAX 0276-40-5008

エヌケイ精工株式会社

〒934-0025 富山県射水市八幡町3-10-15
TEL 0766-84-3175 FAX 0766-84-3137

株式会社東北コアセンター

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108 高周波鑄造内
TEL 0178-46-1856 FAX 0178-43-0153

株式会社北熱

〒930-0106 富山県富山市高木西115
TEL 076-436-1377 FAX 076-436-1394

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から3月31日まで

定時株主総会

毎年6月中に開催

株主名簿管理人事務取扱場所

〒103-8670 東京都中央区八重洲1-2-1
みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部

1単元の株式数

1,000株

公告方法

電子公告により行います。
公告掲載URL ▶ <http://www.koshuha.co.jp>
ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスタース証券株式会社 本店及び全国各支店

当社のホームページでも詳しい情報を
同時に開示しております。ぜひ併せてご覧ください。

<http://www.koshuha.co.jp>

日本高周波 |

検索



日本高周波鋼業グループ
NIPPON KOSHUHA STEEL GROUP